

昭和60年度普及区域指導活動記録

都道府県名 沖縄県
 改良普及員室名称 八重山支庁農林水産課
 普及区域 八重山地区

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	翌年度への展開
企画事業	八重山地区漁村青少年協議会	6月、10月 3月	八重山地区	漁村青少年	漁協、市町村 学識経験者	漁業後継者対策事業のための意向集約 検討実施。	継続実施
	沿岸漁業改善資金運用事業	4月～3月	管内全域	漁業者	漁協、市、町	需要調査、申請等の検討、手続の指導 事業実施後の調査指導	"
	漁船技術修練会事業 (委託)		石垣市	漁業者	漁協青年部 日本電波協会	特殊無線技師免許（無線電話甲） 昭和61年1月7日～1月14日まで講習 会を開催し、36名中17名が合格した。 事業費 541,000	"
調査事業	漁業公害調査	4月～3月	石垣市白保	漁業者		沿岸の水質調査 沿岸漁場の観測調査を実施した。 調査は気温、水温、比重、PH、D O、濁度の6項目について行なった (結果は主管課報告)	継続実施
	浮魚礁利用状況調査	4月～3月	石垣市 与那国町	漁業者	漁協、市、町	操業試験を行い、水揚状況を調査し、 鮮度保持技術等の指導を行なった。	"
研修事業	漁家経営実態調査	1月～12月	八重山地区	漁業者	漁協、市	八重山漁協管内の一本釣漁業者と矛突 漁業者を選定し個別に調査を行なった	"
	水産業改良普及員一般研修		糸満	普及員	専門技師	専門技師による行政一般及び専門事項 についての研修が行なわれた。	"

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	翌年度への展開
研修事業	技術交流会	7月	伊良部町	漁業者	宮古普及員室 伊良部町漁協	八重山漁協浮魚礁研究会の漁業者8名を引率し、伊良部町漁協の漁業者と交流した。日中は試験操業をしながら漁具、漁庄の交流を行ない、夜は遅くまで浮魚礁の利用上のトラブルや管理方法について、活発な意見交換を行なった。	
講習会	講習会	5月	八重山漁協	漁業者	市漁協、日本魚類保鮮研究会	「鮮度保持と流通について（マグロを主として）」講師 谷口徳玉（日本魚類保鮮開発研究会） 「釣った魚を高く売るためには鮮度を保持させることが最も重要である。」と実際にマグロを用い鮮度保持技術と主とし、流通面まで理論的にかかわりやすく講演された。	
試験事業	クビレヅタ養殖試験	4月～3月	竹富町 (西表島西部)	研究グループ	漁協、町	参加した漁業者約50名は真剣に聞き入っていた。 クビレヅタ母藻を移植し、広がっていくのを確認できたところ、時化により操作が流失してしまった。しかし天然のクビレヅタも確認できたのを含め船浮湾での生存が十分可能であることが今回の試験により確認できた。	今年度は繁茂は確認できなかったが、次年度ははいふん等の栄養分を供給し比較する。そして藻体の物理的流失をなくすため、かごの設置法

事業区分	課	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	翌年度への展開
試験事業	中表層曳縄的試験 (新技術実証事業)	2月	与那国漁協	漁業者	漁協、町	与那国漁協管内のバヤオにおいて、新漁具の試験操作を行った。	翌年度への展開 を改良する。	
指導事業	少年水産教室	8月	水産業普及所	中学生	漁協、市、町	漁村の子弟に漁業に関する知識、技術について学習させ、漁業の役割について理解を図った。		
	青年水産教室	12月	八重山漁業職員会館	漁業者	漁協、市、町 県立八重山病院 県漁政課	八重山地区からは、八重山漁協管内から4名、与那国町漁協管内から1名の計5名参加した。 「潜水病について」 講師 大浜長照 (県立八重山病院副院長) 「漁業権について」 講師 糸満盛健 (県漁政課漁業調整係長) 最近また頻発しつつある潜水病を再認識させる目的で潜水病を予防するための基礎的な事項が説明された。 漁業者固有の権利である漁業権に対する認識を深める目的で、漁場の有効利用という観点で講演された。 漁業者にとっても、ともに身近な事だけに講演会が終わった後の懇談会においても活発な質疑応答が行なわれた。		

事業区分	課	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	登年度への展開
指導事業	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	11月	那覇市	漁業者	漁協、市町村農業改良普及所	八重山地区からは、八重山漁協アギヤ一生産協進会の伊計恒吉さんが「潜水病対策と操業の自主規制に取り組んで」というテーマで発表した。 (第10回沖縄縄県漁村青壮年婦人活動実績発表大会資料参照)	
	ヒトエグサ養殖指導		石垣市	研究グループ	市、漁協	新しく、ヒトエグサ養殖研究グループが150枚の天然採苗網を10月25日設置。1月上旬のうちに75枚の網を本張りした。泥の付着、雑藻の繁茂等により、収穫率は低かったが、3月末までに5トン(湿重量)を収穫した。	本張りを早くし、収穫期を早める。(雑藻が増殖する前に収穫する)。 泥、雑藻の対策のため、網の洗浄をこまめに行なう。 収穫、加工法の改良 販売ルートの確立 継続実施
	グループ指導	4月～3月	管内全域	青少年部	漁協、市、町	漁協青少年グループ育成指導	
	沿岸漁業改善資金の活用指導	4月～3月	"	漁業者	"	貸付申請手続き及び制度活用指導	継続実施
						申請額 18件 30,619円 決定額 18件 18件	29,480円
						経営改善資金 2件 1,474円 生活改善資金 2件	1,406円

昭和61年度普及区域指導活動計画

都道府県名 沖縄県
 改良普及員室名称 八重山支庁農林水産課
 普及区域 八重山地区

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
企画事業	八重山地区漁村青少年協議会	4月～3月	八重山地区	漁村青少年	漁協、市町村協議会	漁協青年部活動を強化し、学習会、交流会等を活発に行い後継者の資質の向上を図る。	漁業後継者対策事業
	沿岸漁業改善資金運用事業	4月～3月	管内全域	漁業者	漁協、市町村協議会	需要調査、申請等の検討、手続指導、事業実施後の調査指導。	沿岸漁業改善資金助成事業
調査事業	漁業公害調査	4月～3月	石垣市(白保)	漁業者	漁協、市、町協議会	水質調査	漁業公害調査指導事業
	魚礁調査(協力)	4月～3月	石垣市与那国町	漁業者	漁協、市、町協議会	沈礁、浮魚礁の効果調査及び利用状況調査	沿岸漁場整備開発事業
研修事業	水産業改良普及員一般研修		糸満	普及員	専門技師	専門技師による行政一般及び専門事項についての研修	水産業改良普及員研修実施基準
	技術交流会	5月	宮崎県	漁業者	漁協、市、町協議会	シラヒゲウニを材料に栽培漁業に向けた意識高揚を図るとともに加工技術を修得させる。	
	特別研修 学習会	9月	石垣市	漁業者	宮崎県漁協、市、町協議会	近海改良マダゴ延縄漁具漁法についての乗船実習を行う。 漁業協同組合をめぐる今日的課題	
						講師 全国共水連鹿兒島事務所長 難波義彦	

事業区分	課題	実施時期	地区又は場所	普及対象	協力者・団体等	普及活動事項	沿岸施策との関連
研修事業	全国水産業改良普及職員行政研修	2月	東京都	普及職員	水産庁	昭和61年度全国水産業改良普及職員行政研修に一名参加。	
試験事業	クビレツタ養殖試験	4月～3月	竹富町	研究グループ	漁協、町	クビレツタ母藻を移植し、増殖させるための技術を比較試験する。	
指導事業	少年水産教室	8月	水産普及所	中学生	漁協、市、町	漁村の子弟に漁業に関する知識、技術について学習させ漁業についての理解を深める。	漁業後継者対策事業
	青年水産教室	5月	石垣市	漁村青少年	漁協、市、町	明日の水産業を担う漁業後継者に基づるもの。 講師 県農林水産部次長 伊野波盛仁	漁業後継者対策事業
	漁村青壮年婦人活動実績発表大会	11月	那覇市	青壮年婦人	漁協、県漁連	漁村青壮年婦人の自主的な研究実績を発表させることにより相互の知識の交流を図る。	
	沿岸漁業改善資金の活用並びに調査指導	4月～3月	管内全域	漁業者	漁協、市町村	事業実施後の経営指導。	沿岸漁業改善資金助成法
	モデル漁家グループ指導	4月～3月 4月～3月	管内全域 管内全域	漁業者 青少年	漁協、市町村 漁協、市町村	漁業日誌、家計簿等の記帳を指導する 漁協青少年グループ育成指導	
	巡回指導	4月～3月	管内全域	研究グループ 青少年	漁協、市町村	漁村を巡回し、巡回相談、試験、調査等の事業を行い、漁協青少年グループの意向集約及び育成強化について行う	
	ヒトエサ養殖指導	4月～3月	石垣市	研究グループ	漁協、市	前年度の問題点を改善し、網数を増やしていく。	